

## 家づくりの要である住宅設計を考えてみよう（その17）

### ～ トイレの位置 ～

#### 1 トイレと生活動線

トイレの配置を考える際には注意しなければならない点が多々あります。トイレは使用頻度も高く生活動線にも大きく影響を与えますので、良く考えて計画したいものです。

#### 2 トイレの位置

トイレの位置について、大別すると、玄関ホールに近接させるタイプとサンタリースペースとして浴室・洗面脱衣室とまとめて設けるタイプに分けられます。

##### (1) 玄関ホールに近接させるタイプ

このタイプは結構数多くあります。玄関でお客様の対応をすることが少ないことや、簡単な対応ならばインターホンもありますので、玄関にトイレがあっても気にならないということが理由かもしれません。また、リビングでお客様に対応する時にも洗面脱衣室等を見せたくないということで、玄関にトイレを配置することもあると思います。とは言っても、トイレはプライベートな所ですので、お客様の頻度や他の部屋との関係を良く考慮して判断したいものです。

##### (2) 洗面脱衣室の中にトイレの入り口がある

このタイプのメリットとしては、トイレに専用の手洗いが不要であることと、洗面脱衣室でリビング等の生活空間と区切ることができるため、目線や音が気になりにくいということがあります。一方、デメリットとしては、誰かが入浴中の時はトイレに行きずらくなることです。また、お客様が利用する時は、脱衣所を通ることになりますので気になります。対策としては、洗面と脱衣スペースをカーテン等で仕切れるようにしておくと思いいます。

##### (3) お勧め

お勧めは、リビング等の部屋から廊下やホール等ワンクッションおいてトイレに行くタイプです。洗面脱衣室が近接していればベストです。寝室からの動線やお客様の動線も考えながら計画したいものです。

#### 3 避けたいトイレの位置

トイレのドアを開けたらすぐリビングというのは避けた方が良いと思います。リビングは長時間居る部屋ですし、トイレの出入りを不快に感じやすい部屋だからです。勿論、音、臭いも気になります。対策としては、壁や目隠しを設置して、トイレの前にワンクッションおくことかなと思います。

#### 4 浴室・洗面・トイレが一体のタイプ

このメリットは、部屋が広くなるため、明るい空間にしやすいということです。従って、バリアフリーには有利ですし、おしゃれな浴室・洗面・トイレスペースにもなります。ただ、家族が多い場合や、湿気・カビに注意が必要です。

